

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスNoah				公表日	2025年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83.3%	16.7%	元気な子供たちに対して少しの足りない広さではあるが、屋外での活度を多く取り入れ活動を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.7%	33.3%	配置基準に基づきスタッフを配置している。	スタッフの急病・休養などの際に勤務できる人材が少ない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16.7%	50.0%	バリアフリーではないが、絵カード、写真、文字により予定などを伝えるようにしている。	できる範囲で増やしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.3%	0.0%	日々の清掃は行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83.3%	16.7%	スペースは確保している。	リラックスできるような環境にするには改善が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16.7%	66.7%	ミーティングや日頃のコミュニケーションの中で行っている。	皆が意識できるように周知していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.3%	16.7%	スタッフには結果を見てもらって意見を聞いている。日頃の送迎などの際に得た情報などもミーティングなどで共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.3%	16.7%	日頃からミーティングで情報共有をするようにしている。	個々のスタッフが発言しやすいように配慮していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33.3%	50.0%	行っていない。	今後、必要に応じて検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	66.7%	33.3%	内部、外部、また持ち帰りの研修を共有するようにしている。	外部研修も積極的に参加していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	プログラムを作成して実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	66.7%	33.3%	本人、保護者、スタッフからも情報を収集し検討している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50.0%	33.3%	本人、保護者、スタッフからも情報を収集し検討している。	情報交換、意見交換を日頃から行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50.0%	50.0%	ミーティングなどでも共有するようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50.0%	33.3%	様々な視点から見られるように家庭、学校、主治医や検査結果なども共有できるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	66.7%	16.7%	こどもに合わせた支援内容を立てながら、5領域の項目が組み込めるよう作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	33.3%	33.3%	スタッフから意見を集めてプログラムを考えている。	非常勤スタッフも含めて意見を聞いていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	66.7%	16.7%	スタッフから意見を集めてプログラムを考えている。	非常勤スタッフも含めて意見を聞いていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	50.0%	16.7%	スタッフから意見を集めてプログラムを考えている。	非常勤スタッフも含めて意見を聞いていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	66.7%	16.7%	行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33.3%	50.0%	行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	その日のうちに記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83.3%	16.7%	行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	50.0%	16.7%	行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	66.7%	16.7%	おやつ購入などは自己選択自己決定を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83.3%	0.0%	児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50.0%	16.7%	必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	必要に応じて行っている。 支援級とは情報交換しやすいが、通常級とは難しい面もある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33.3%	50.0%	必要があれば行いが、家族からの情報が中心となっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.3%	50.0%	18才での卒業生がまだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50.0%	16.7%	必要に応じて行っていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.3%	50.0%	あまり機会がないが、里山やイベントなどで他の団体の児童と交流することがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50.0%	16.7%	毎月参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	50.0%	16.7%	できるだけするように心がけている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16.7%	50.0%	イベントへの参加協力をお願いしたり、研修情報は保護者に流している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83.3%	0.0%	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	66.7%	16.7%	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83.3%	0.0%	同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83.3%	0.0%	面談、電話、LINEなどでおこなっている。	引き続き行っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.7%	16.7%	親、兄弟、参加のイベントは年に数回行っている。	内容を検討しながら、引き続き行っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83.3%	0.0%	できるだけ、迅速に誠意を持って対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	83.3%	0.0%	HP、通信プリントなどで情報提供している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83.3%	0.0%	留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83.3%	0.0%	予定表は絵カード、文字、写真を使うようにしている。	いろいろな場面でも広げていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3%	33.3%	地域のイベントには参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	66.7%	0.0%	マニュアルの作成は行っている。訓練は火災、地震などはよく行っている。	防犯の訓練なども行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83.3%	0.0%	避難訓練業務継続計画は作成している。避難訓練は定期的に行っている。	今後は幅広い想定の実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	スタッフに共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	16.7%	医師の指示所がある子どもがいないが、出されれば対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	66.7%	16.7%	他事業所の事故などのニュースをスタッフにも共有するようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	66.7%	33.3%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83.3%	16.7%	行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83.3%	0.0%	研修への参加や持ち帰りの研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83.3%	0.0%	身体拘束の3要件はスタッフに周知徹底している。		